

- ・退職のご挨拶 ～辻本 元 教授～
- ・VMC webセミナー開催
- ・診療科紹介
- ・東大VMC基金活動報告
- ・臨床試験のご案内



東京大学大学院農学生命科学研究科 附属動物医療センター 広報誌
Veterinary Medical Center, the University of Tokyo | NEWS LETTER NO.4 April 2021

お知らせ

辻本先生が退職されました

2020年度は獣医内科学研究室の教授であり、元センター長を勤められた辻本元先生の最後の一年でもありました。辻本先生の退職記念講演はズームを用いて開催されました。約170名がオンライン聴講する中、40年近くになる研究生活を振り返ってご講演くださいました。



退職のご挨拶

私は本年3月31日をもって東京大学を定年退職致します。1989年に獣医内科学教室の教員に採用されて以来、今日まで32年間にわたって獣医学専攻の教員を務めさせていただきました。自分の好きなことを生業にすることができ、しかも大学という自由な組織で多くの方達と一緒に楽しく仕事をすることができたことは、私にとってこの上ない幸せでした。これまで一緒に仕事をさせていただいたすべての方から感謝し、皆様のご多幸を祈念しております。

東京大学大学院農学生命科学研究科
獣医内科学研究室 教授

辻本 元

4月からは足立区にある日本動物高度医療センター(JARMeC)東京病院で勤務されるとのことです。これからも末永くご指導ご鞭撻の程、宜しく願いいたします。

お知らせ

オンラインセミナー (VMC web セミナー) を開催しています



これまで農学部内の大教室でセミナーを開催していましたが、昨今の感染症拡大防止の観点から対面での開催が困難となり、やむを得ず開催を中止しておりました。しかし、こんな時だからこそ皆様との関わりの場であるVMCセミナーを復活させたいという声が高まり、オンラインにて開催すべく、この度配信設備を新設しました。

これらの機材の購入には皆様からの寄付金を使わせていただきました。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。これまでに2回のセミナーを開催しましたが、いずれも200名近い方にご参加いただきました。これから頻度を上げて開催していく予定です。まだ機材が不十分で開催

VMC web seminar

対象 獣医師、動物看護師、学生、院生、企業関係者、どなたでも参加可能

事前登録 事前登録が必要になります
登録後、セミナー参加に関する情報の確認メールが届きます

資料 資料は当日ダウンロードが可能です

参加費
無料

【お問い合わせ】
E-mail : utvmc.info@gmail.com
東京大学動物医療センター 整形外科 本阿彌宗紀



形式が限定されていますが、順次拡充していく予定ですのでご期待ください。

今後のセミナー情報は当センターHPやFacebookページ、メール配信にて告知しております。メール配信をご希望の方はutvmc.info@gmail.com (担当: 本阿彌) 宛に「メーリングリスト登録希望」と記載してご連絡ください。また、セミナーに関するご意見やご要望などありましたら、上記メールアドレスにご連絡ください。VMC webセミナーは今後も教育病院としての責務を果たすべく、教育と啓蒙、研究報告に力を入れて参ります。

お知らせ

VMC140周年記念基金活動報告



VMC140周年記念基金の設立から約1年半が経過し、多くの方々にご支援をいただきました。皆様からの温かいご支援は2021年3月31日現在、累計10,430,836円に達しました。前回の院内環境整備に引き続き、今回は新たにウェブセミナー室を整備し、教育活動等に利用させていただいています（詳細は前ページ参照）。基金に対して深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。累計10万円以上のご寄付を頂いた皆様にはオリジナルグッズ「VMCロゴマーク付きお散歩バッグ」「VMCロゴマーク付きてぬぐい」を送付させていただきました。また、累計30万円以上のご寄付を頂いた方のお名前を記した銘板を、VMC 1階のロビー設置させていただきました。今後の活動内容についても病院ホームページ、Facebookページにて定期的に報告させていただきます。なお、この基金は現在も寄附を募集中です（右上QRコードより基金HPにアクセスできます）。今後も皆様の温かいご支援を心からお待ちしております。



診療科紹介：軟部組織外科

軟部組織外科では手術内容は大きく一般外科と腫瘍外科に分かれています。一般外科では門脈シャントなどの先天性疾患から、会陰ヘルニアなどよく遭遇する疾患、尿管結石などによる尿路閉塞など緊急性の高いものまで幅広く対応しています。一方腫瘍外科では肝臓外科や胸腔外科など高難度手術を実施するとともに、化学療法が必要な場合には腫瘍内科と、放射線治療を必要とする場合には画像診断部とも連携し、集学的な治療を行なっています。

安全な手術は、適切な手術手技はもちろんのこと、画像診断を元にした術前計画の共有、きめ細やかな周術期のケアにより達成されます。当院の特徴として外科系スタッフのみならず、麻酔・集中治療部、看護部、内科学的な管理が必要な場合には内科系診療科スタッフも含めたチーム医療で取り組むことで、生存率の向上、早期退院を可能としています。また根拠に基づいた最新の獣医療を提供するだけでなく、基礎研究の成果に基づく臨床試験も実施しております。こうした診療成果は患者である動物に対してだけでなく、得られた知見を学会や学術論文に発表することで広く社会にも還元、貢



献しています。

また本学附属動物医療センターは小動物外科専門医研修プログラムの基幹施設であり、3名の小動物外科専門医による指導のもと、次世代を担う獣医外科医の育成にも尽力しています。本センターでの研修医は年1-2回の募集を行っておりますので、研修を希望される先生の応募をお待ちしております。（こうした軟部組織外科の診療や研修医募集、臨床試験などの内容については随時ホームページにて公開しております。ぜひご覧ください。）症例ご紹介の相談など、まずはお気軽にお問い合わせ下さい。



お知らせ

VET TALKS : 大学院生による臨床研究発表会

VET TALKSは「獣医臨床系の大学院生の、大学院生による、大学院生のための」研究プレゼン大会です。2018年から毎年有志で開催しており、今回が3回目になります。去年は新型コロナの影響で開催できなかったため2020年度大会として2月23日にオンラインで開催しました。

今年は20人を超える学生・教員が集まり、白熱した議論を交わしました。今年のベストプレゼンター賞は外科学研究室博士過程3年の羽生航君が受賞しました（テーマ：骨髄中脂肪細胞に付着する間葉系幹細胞の神経細胞分化能）。



Information

臨床試験のご案内



東大VMCでは現在以下の臨床試験プログラムを実施しています。当該症例に遭遇した場合は当センターへご紹介をお願いします。詳細は右上のQRコードを参照ください。

犬の悪性固形腫瘍に対する抗体薬の臨床試験

対象

■ 外科手術による根治的切除不能な扁平上皮癌、線維肉腫、または転移病変を有する悪性黒色腫、かつ、標的分子の発現を認める腫瘍 ■ その他、外科的切除不能あるいは転移病変を有する悪性固形腫瘍のうち、標的分子の発現を認める腫瘍（標的分子の発現については、本院での病変の採材、または他院での手術時の検体を用いて検査が可能です。扁平上皮癌、線維肉腫、悪性黒色腫の標的分子発現率は40～80%です） ■ 東京大学附属動物医療センターに通院できる飼い主様（初回投与時の入院、その後1～2週に1度の頻度での通院が必要になります。） ■ 治療効果検証のための病変の採材にご協力頂ける飼い主様

犬の組織球性肉腫に対する治療試験

対象

■ 播種性組織球性肉腫と診断された犬 ■ 化学療法が適応と判断され、第一選択薬であるロムスチン（あるいはニムスチン）が投与されたものの、当初より効果が認められない、あるいは効果が認められた後に耐性を獲得した症例 ■ 東京大学附属動物医療センターへの来院が可能

犬の膀胱・尿道移行上皮癌および前立腺癌に対する臨床試験

対象

■ 移行上皮癌（膀胱・尿道）または前立腺癌と診断された犬（※疑いで紹介していただいても構いません） ■ 抗がん剤、放射線療法、外科摘出を実施していない（NSAIDsは可） ■ 薬剤を1日1回経口投与できる ■ 東京大学附属動物医療センターに通院できる（4週間に1回程度の頻度です）

猫悪性腫瘍に対するニムスチンの臨床試験

対象

■ 細胞診または病理組織学的検査にて悪性腫瘍と診断された症例 ■ 放射線療法、外科手術、骨髄抑制を起こす化学療法を2週間以内に実施していない症例 ■ 東京大学附属動物医療センターに通院できる（週に1回の頻度で投与から3週間目まで）

初診予約～診察の流れ

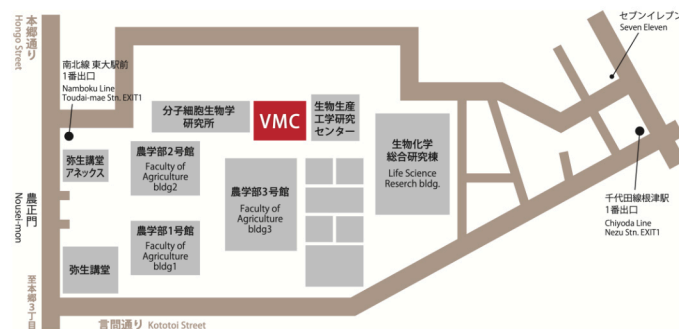


初診外来表

診療科	受付時間	月	火	水	木	金
内科系	9:00-14:00	○	○	○	○	○
外科系	9:00-15:00	○	手術	手術	○	手術
眼科	9:00-15:00	○	○	手術		○
エキゾチック	9:00-15:00	○		手術		
行動	10:00-15:00	○			○	

予約専用（代表） ☎ 03-5841-8004（平日 11:00-16:00）
 其他のお問合せ ☎ 03-5841-5420（平日 9:00-16:00）
 ☎ 03-5841-5413（平日 16:00-20:00）
 行動診療科はFAXにて予約：03-5841-8190
 （詳細は <http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/koudou/j-clinic1.html>）

アクセス



- ★電車でお越しの場合：
 - ・メトロ南北線 東大前駅 出口1から徒歩3分
 - ・メトロ千代田線 根津駅 出口1から徒歩13分（根津駅からは登り坂です）
- ★お車でお越しの場合：
 - ・農学部正門からお入りください。病院の前までお入りいただけます。

COVID-19感染拡大防止のための大学活動制限により変更される場合があります。

ご予約時の注意点（詳細は右下のQRコードをご参照ください）

当センターでは病気の確定診断や、手術などを含む高度医療に主力をおいています。そのため、一般的な治療や診断後・安定後の治療はできる限り紹介医にお願いすることを原則としておりますので、あらかじめご了承ください。

- ・ 外科の初診は診察のご予約になります。手術のご予約ではありませんのでご了承ください。また、麻酔が必要な検査や処置は初診当日に行えない場合があります。
- ・ 当センターの放射線治療装置はオルソボルテージのみとなっています。当センターの放射線装置での対応が難しい場合は他の診療施設を紹介させていただく場合があります。オルソボルテージの装置では適応外の可能性があるので他の診療施設への紹介をご検討ください。
- ・ 眼科では設備の都合上、白内障手術は現在対応できません。
- ・ 診断あるいは治療方針が確定しましたら、原則として紹介病院にお引き継ぎいただきます。
- ・ ご紹介後、当院の休診日(土日祝日など)で対応できない場合は、貴院でのご対応をお願いいたします。（診察日であっても緊急手術などの緊急対応には原則として応じることができませんのでご了承ください）
- ・ 当センターはエキゾチック動物診療科を設置しておりますが、動物種によってはお受けできない場合がありますのでご了承ください。

また、以下の点を飼主様へ説明をお願いします。

- ・ **来院当日の朝は絶食の上でお連れください（飲水は可）**
（糖尿病、幼齢、エキゾチック動物などで絶食が困難と思われる場合は当センターにご確認ください）
- ・ 当日の検査は、動物の状態や当センター全体の検査状況に応じて行います。
初めて来院される際に、必ずしも全ての検査が行なえるとは限りませんのでご了承ください。
- ・ 緊急性がある場合をのぞき、予約当日の外科手術は行なっていません。

詳細はこちら▷



休診のお知らせなどの情報更新は随時HPで公開しております。HPもぜひご覧ください。

<http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/vmc/>

Facebookもチェック



東京大学附属動物医療センター
Veterinary Medical Center, The University of Tokyo

【住所】 〒113-8675 東京都文京区弥生1-1-1
 【TEL】 予約専用（代表）：03-5841-8004 【受付時間】 平日11:00～16:00
 其他のお問合せ：03-5841-5420 【受付時間】 平日 9:00～16:00
 03-5841-5413 【受付時間】 平日16:00～16:00
 【URL】 <http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/vmc/>

編集・発行

編集委員：東京大学附属動物医療センター 広報委員会

発行日：2021年4月30日 発行所：東京大学附属動物医療センター